



「前期研修医の意識調査」アンケート集計 H22.5.6

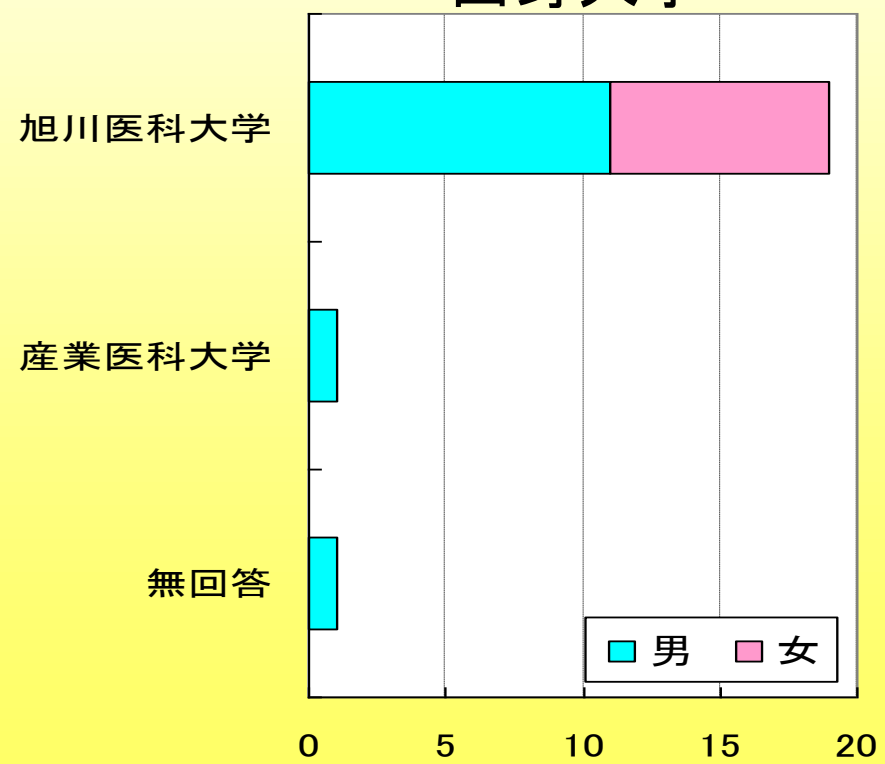
対 象：旭川医科大学 前期研修医

調査対象者数：52名

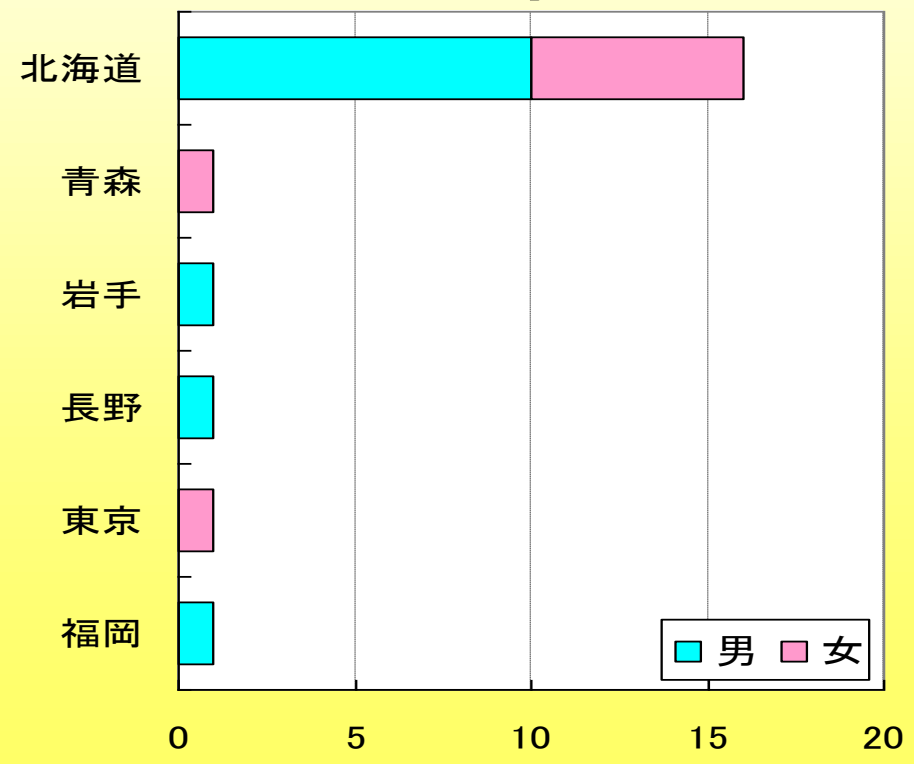
回収数：21名(男性 13名、女性 8名)

研修年数：1年目 13名、2年目 8名

出身大学

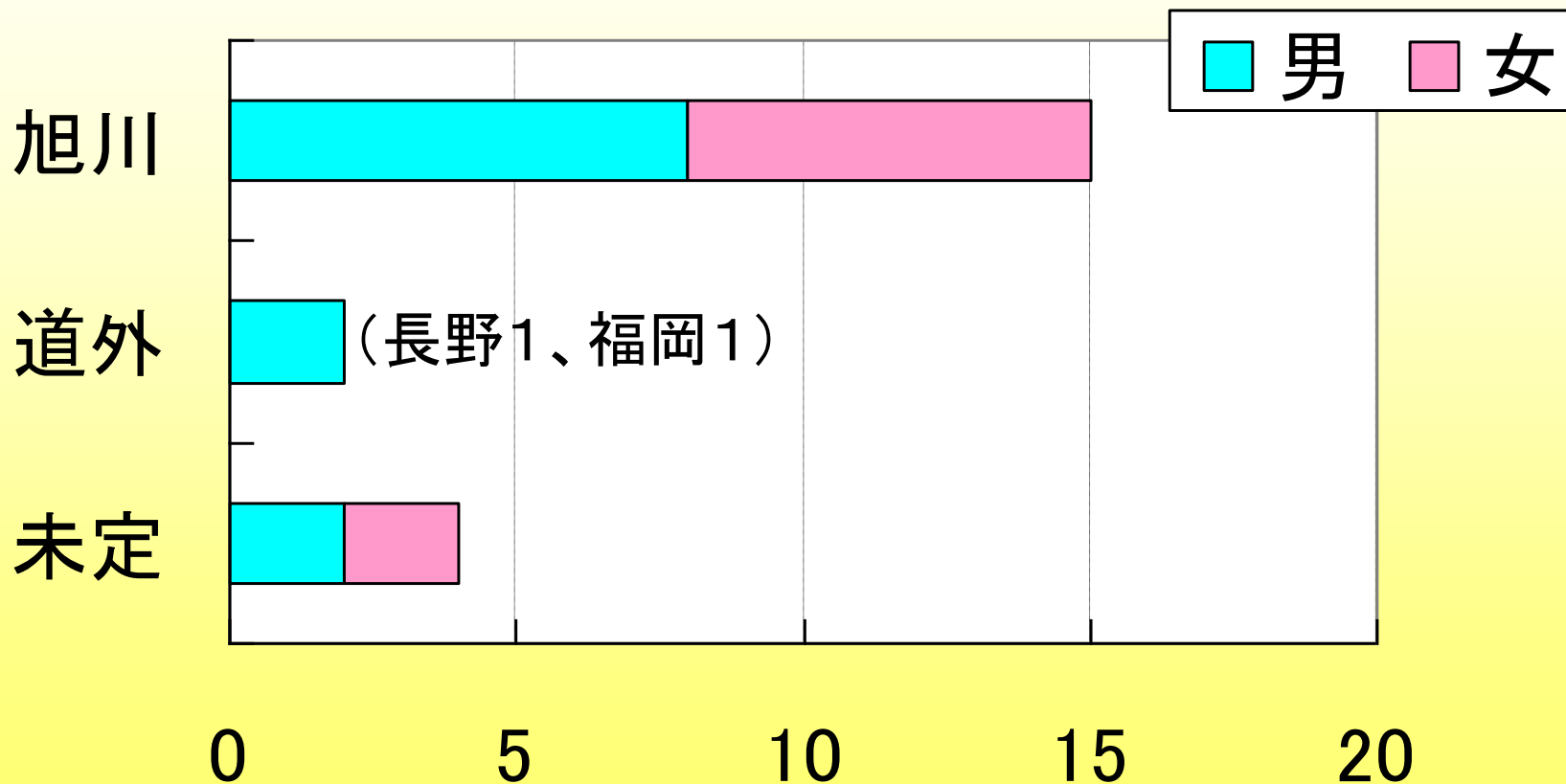


出身地



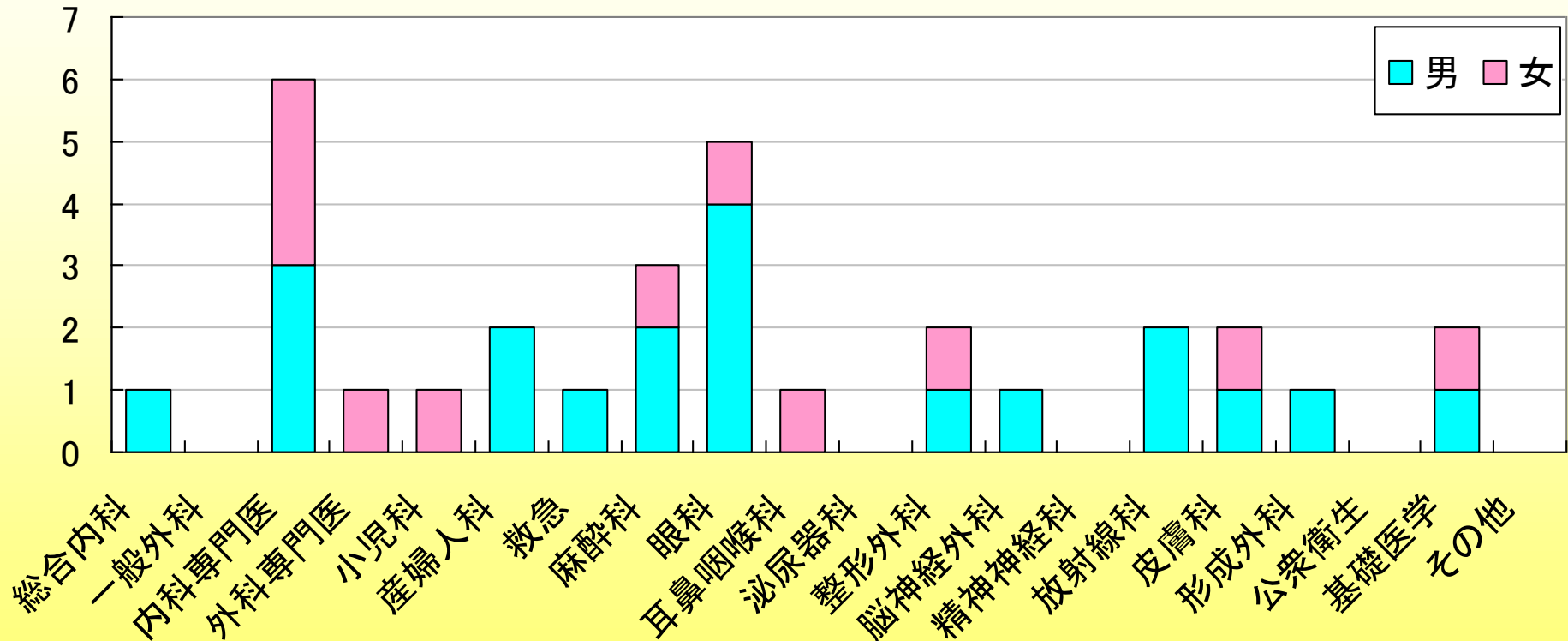


Q. 現在、考えている勤務希望地は？ (複数回答可)



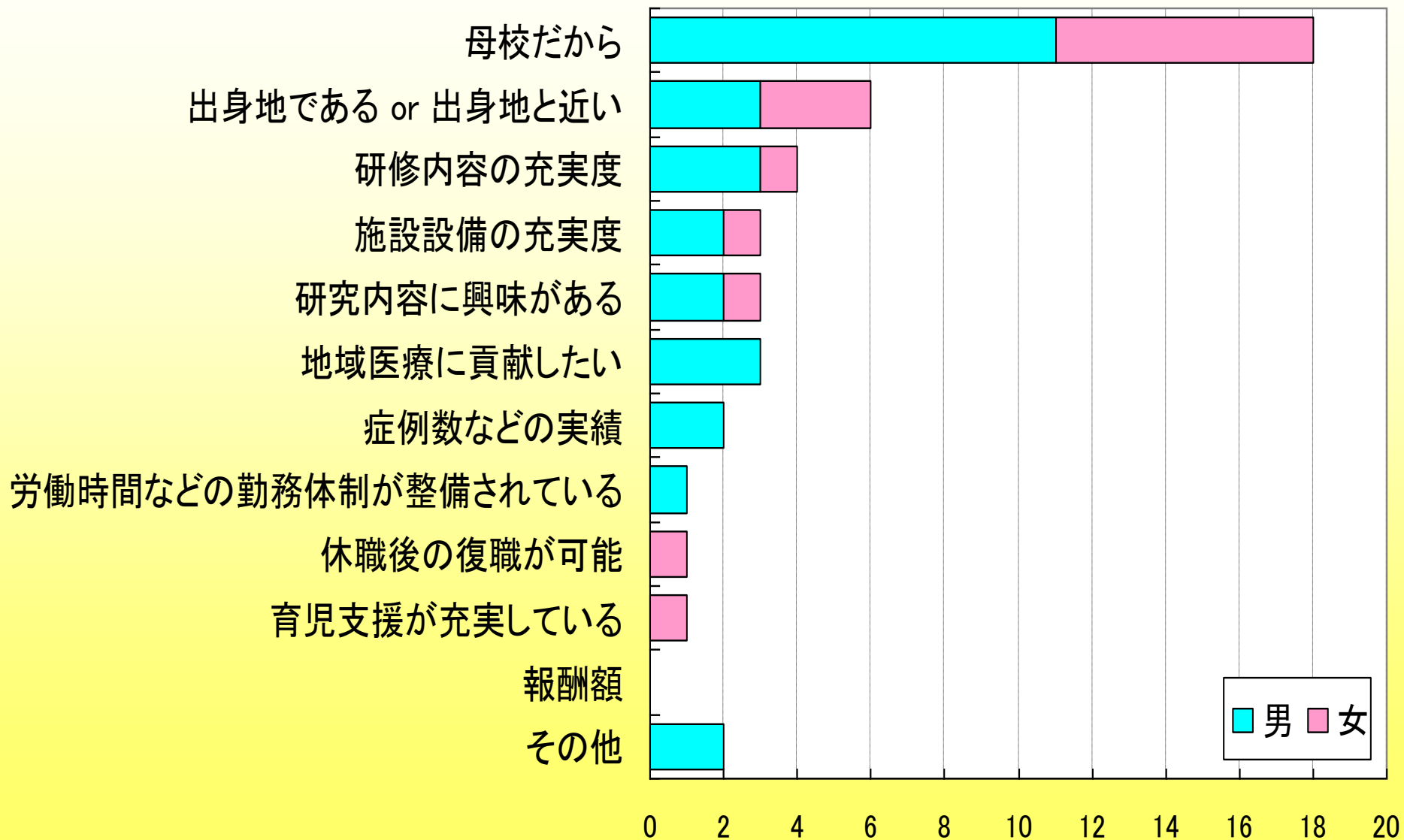


Q. 将来どの分野の医師になりたいか？ (複数回答可)



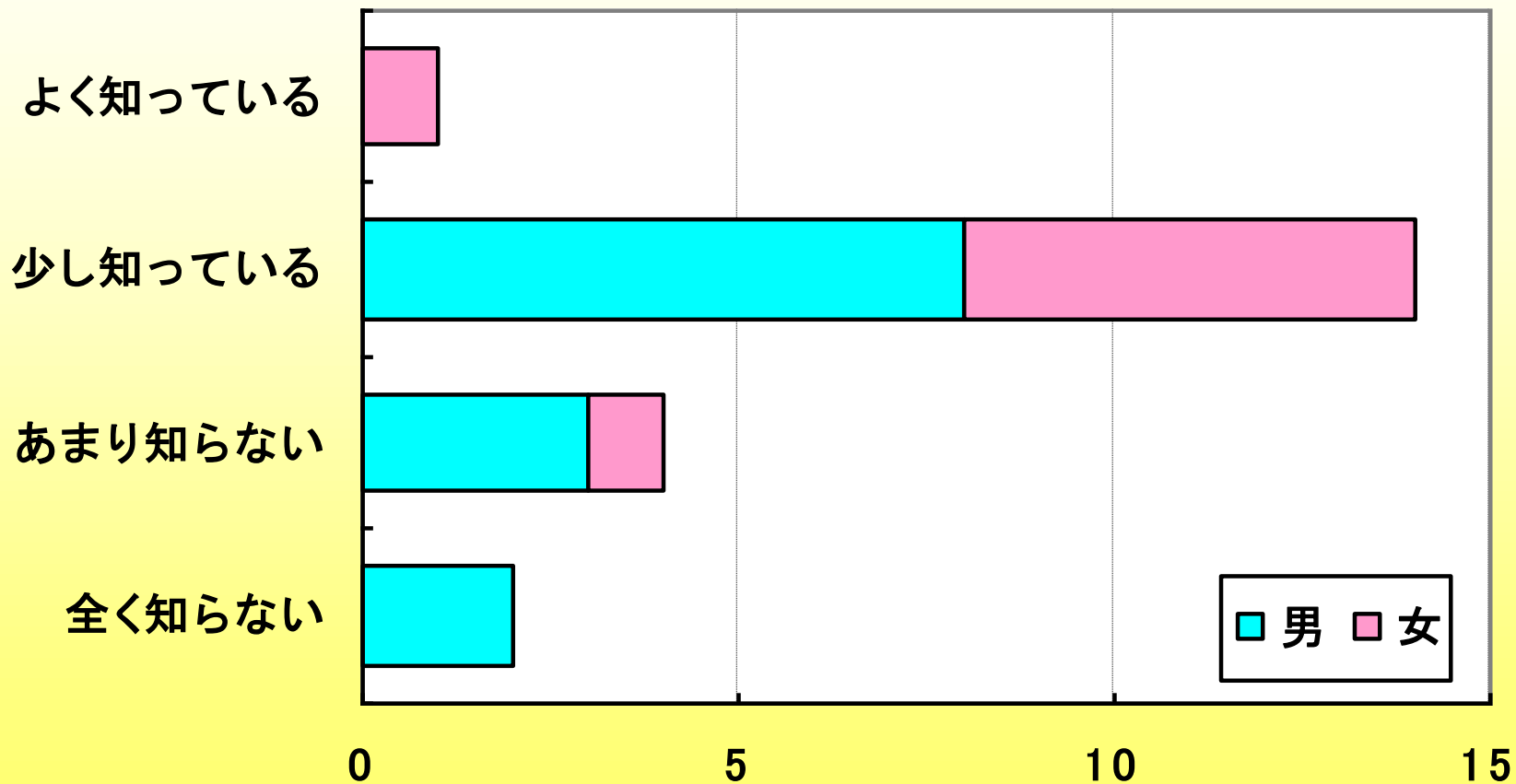


Q.勤務先に旭川医大を選択した理由は？ (複数回答可)



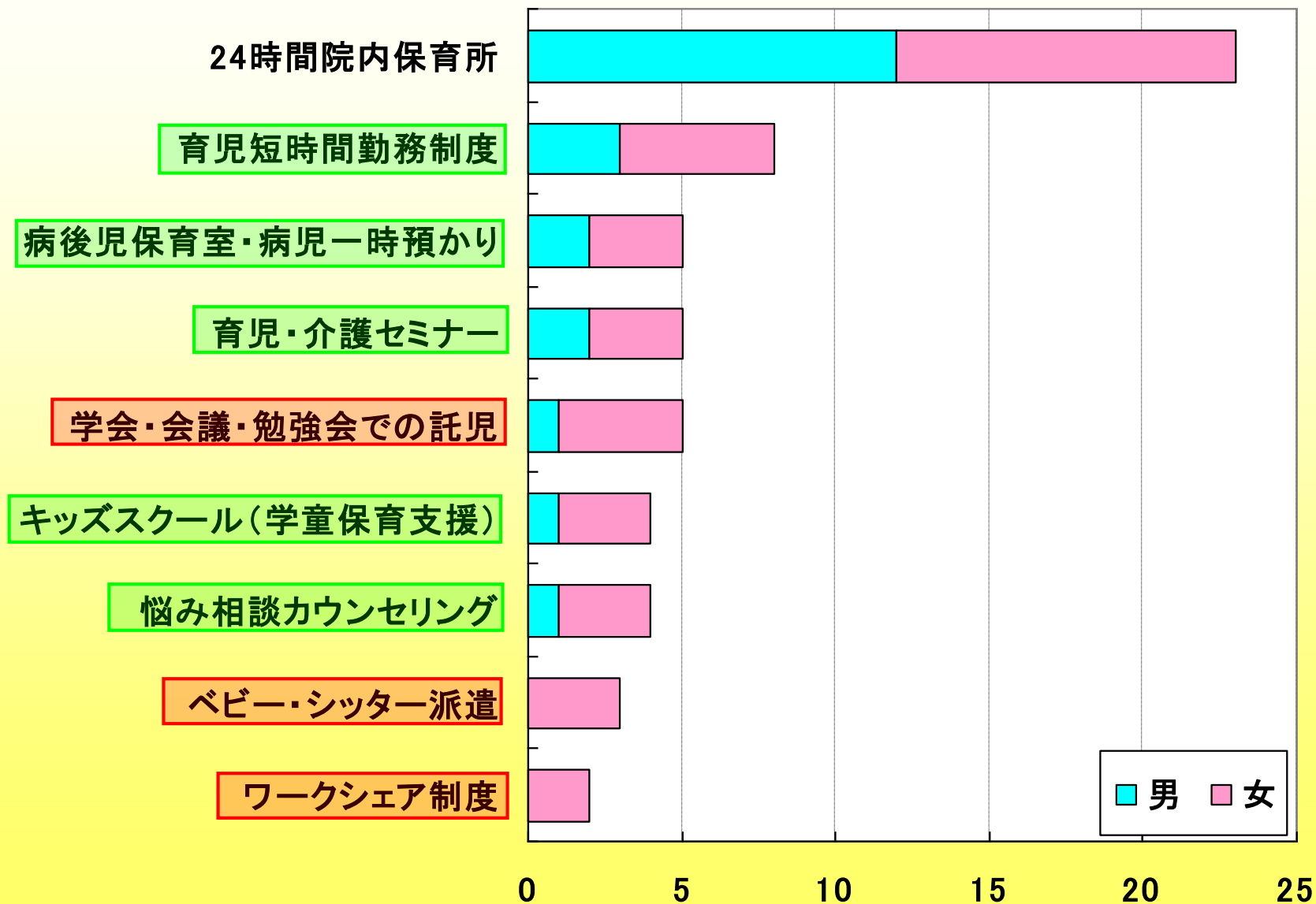


Q. 二輪草センターの育児支援をご存知ですか？





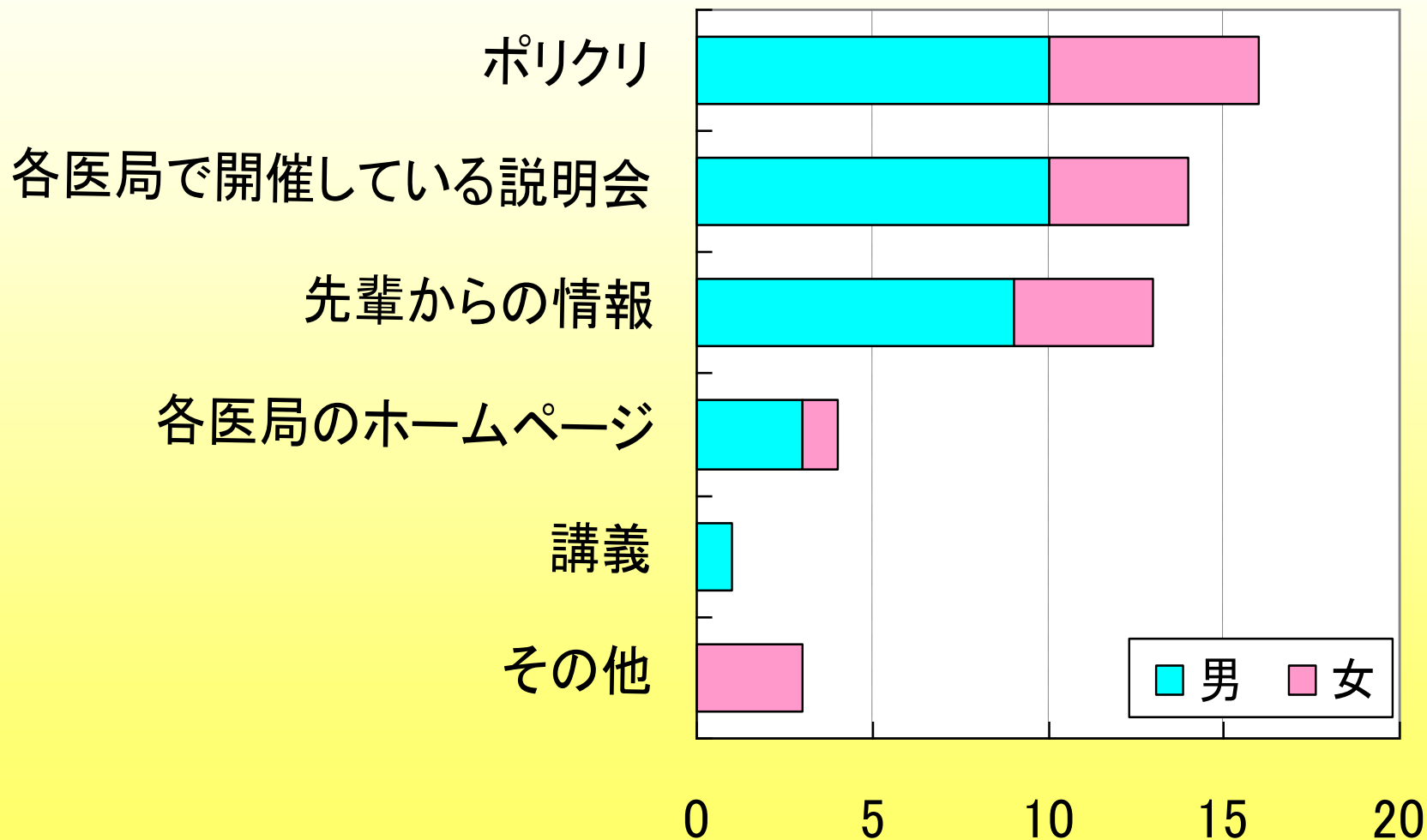
Q. 将来利用したいと考える職場支援は？ (複数回答可)





Q. 各医局への入局を決める際に
情報源として参考になるのは？

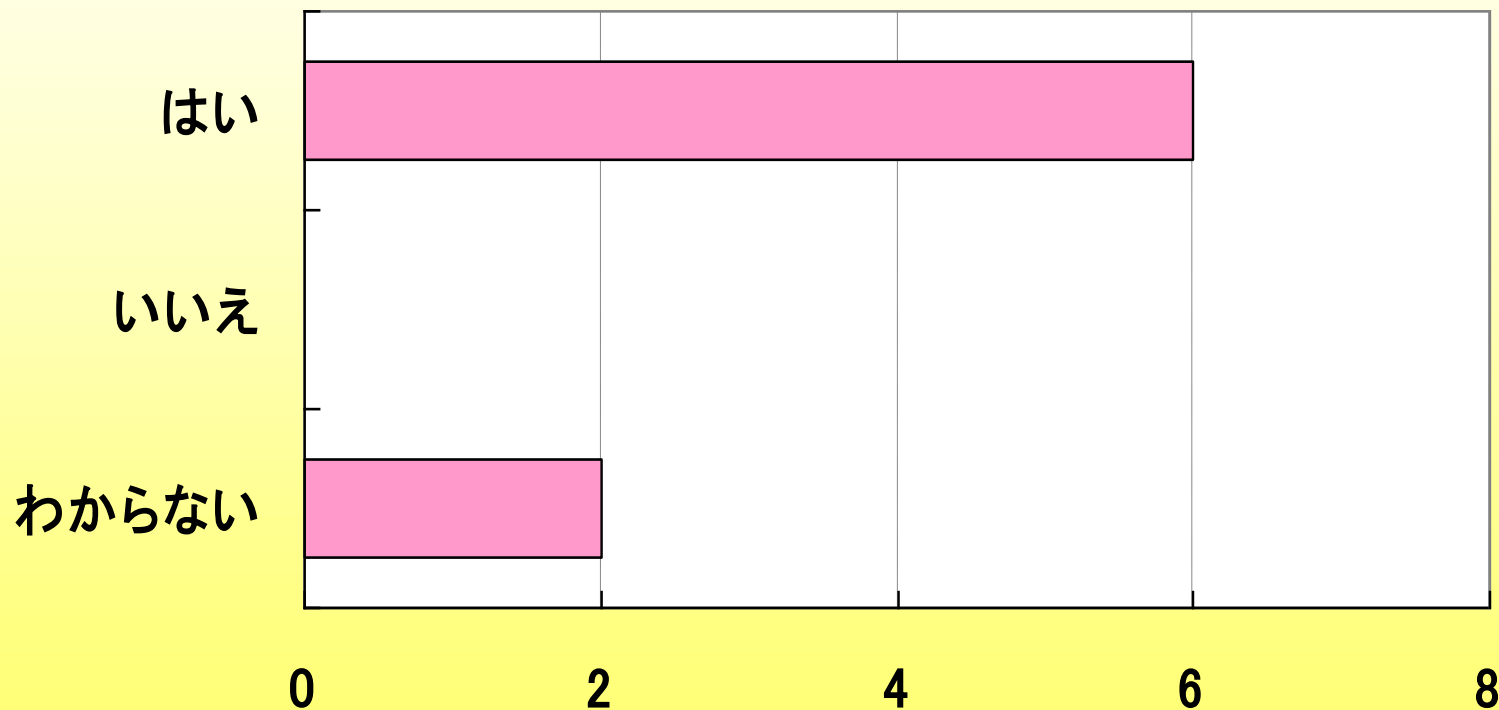
(複数回答可)





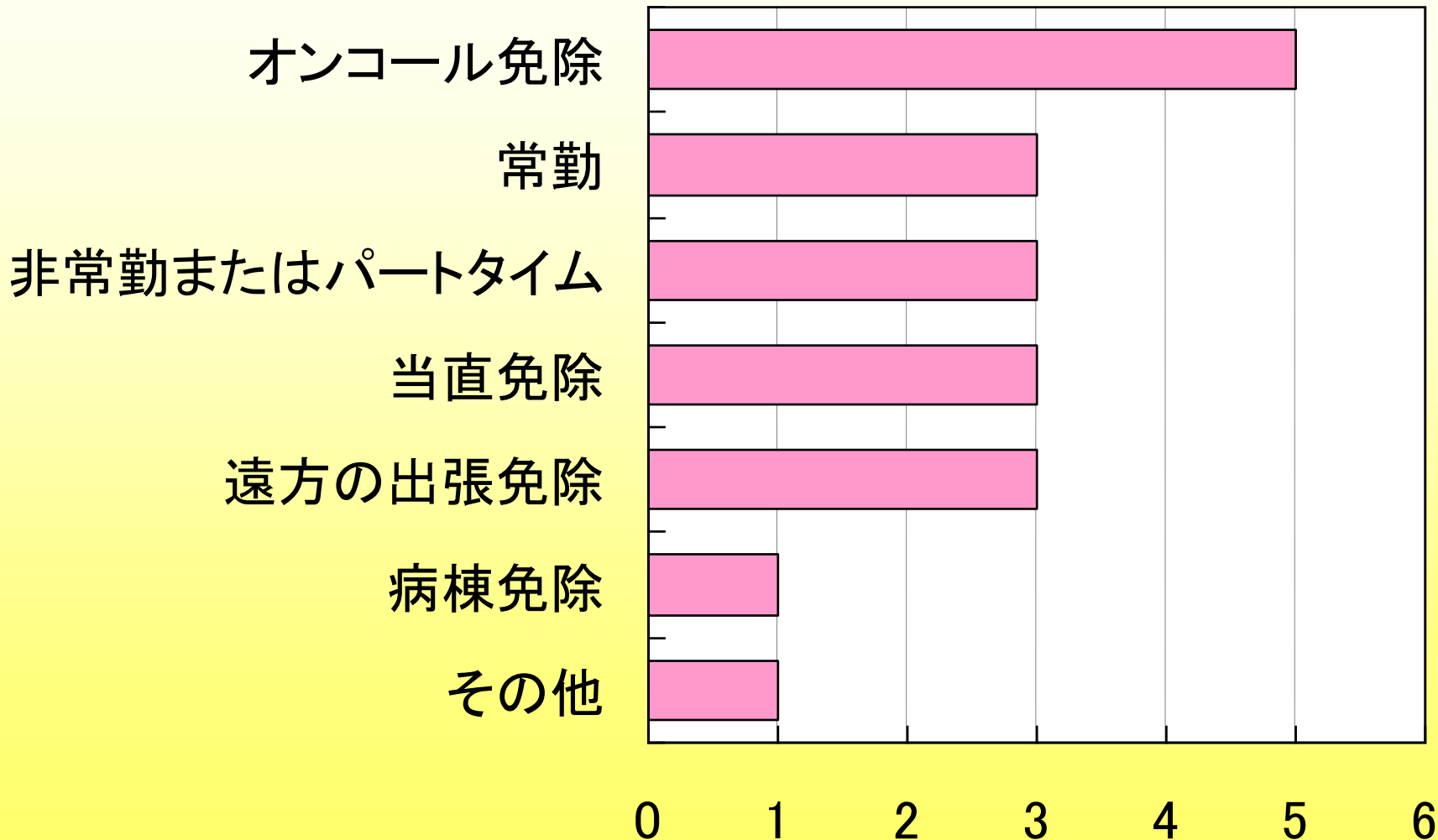
女性研修医への質問

Q1. 現在子供がいるもしくは子供を持つことを考えている。





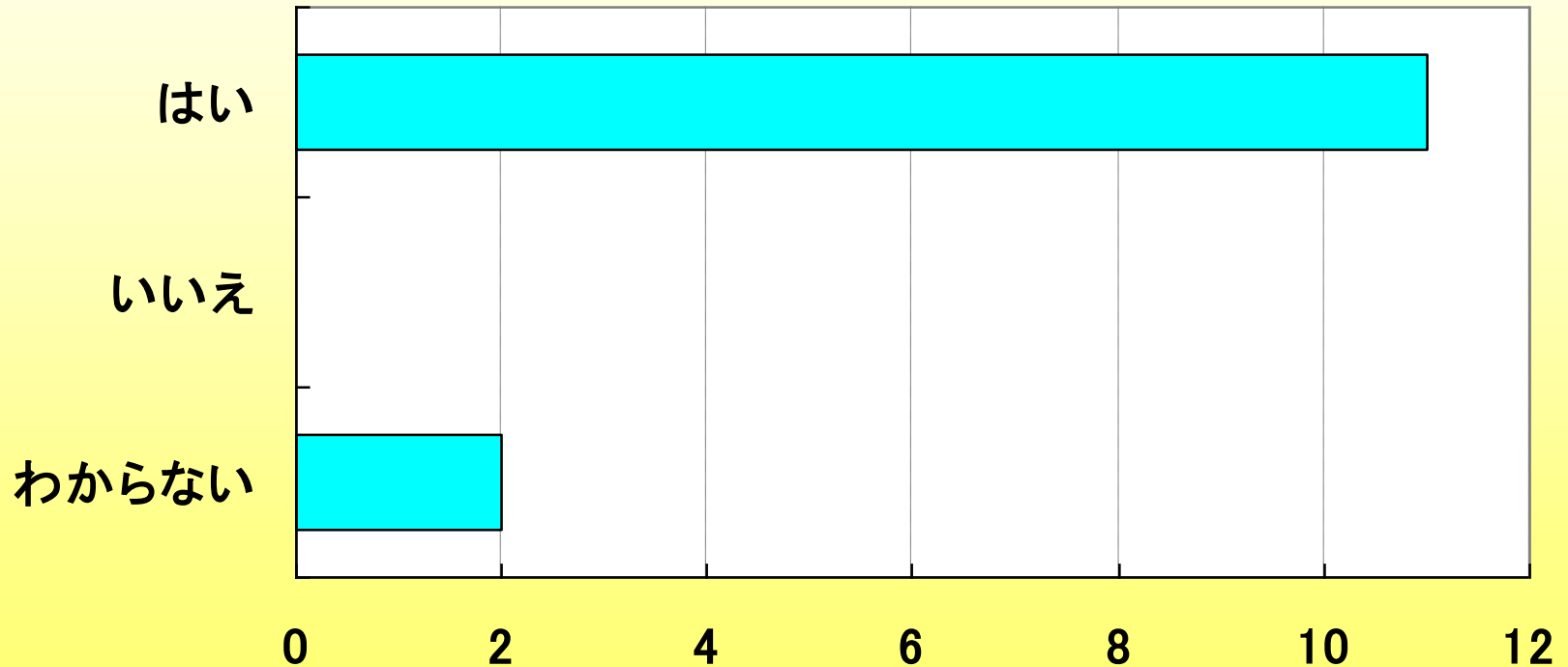
Q2.子供を持ったとき、どのような勤務形態が望ましいか?





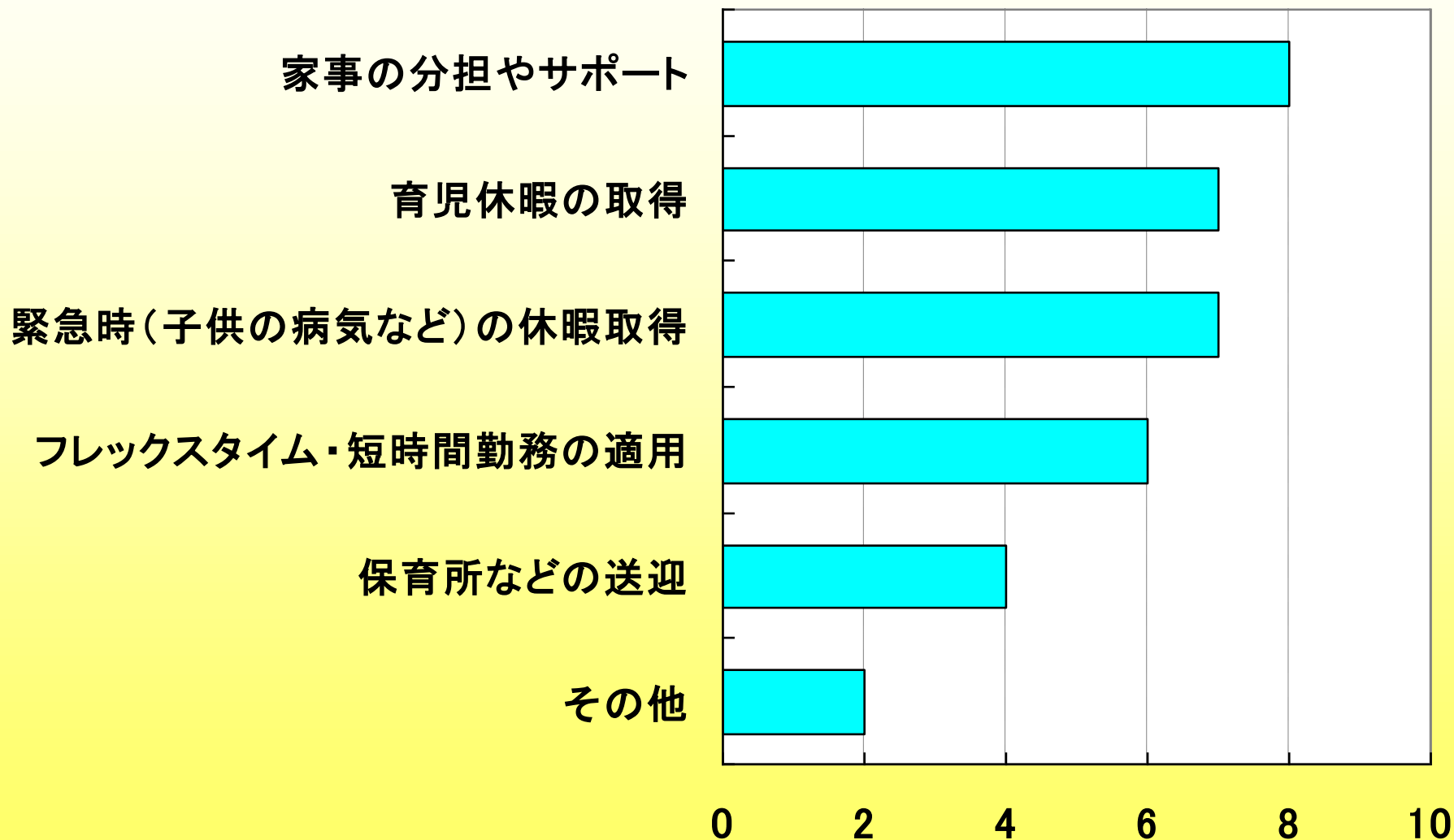
男性研修医への質問

Q1. 子供を持ったとき、育児に協力したいと考えますか？
現在、育児中の先生は協力していますか？





Q2. 可能であればどのような育児協力がしたいと思いますか？





研修医アンケート結果のまとめ

- ・旭川医大研修医は、道内出身の旭川医大卒が多い。
- ・研修病院に旭川医大を選択した理由の一番は、「母校である」であった。
- ・入局先を決める情報として、ポリクリ、医局毎の説明会が重視されている。
- ・女性研修医の多くは、将来的に育児をする可能性があり、多様な勤務形態の整備が求められる。
- ・男性研修医の多くが、積極的に育児に関わりたいと考えている。



育児支援のさらなる充実

育児期間中の若手医師がプライベートを充実し、
キャリアを継続できるような支援体制を
続けていく必要がある。

旭川医科大学は、全国的にみても
育児支援が充実している施設